

令和3年度 横須賀市観光振興推進委員会 議事要旨

日 時：令和3年(2021年)11月9日(火) 14時00分～16時00分

場 所：横須賀市役所 10階 第4委員会室

- 横須賀の観光データを収集・分析・可視化することを、本格的に始める必要がある。
エリア、施設、事業ごとに、来訪者および宿泊者の属性や消費傾向は大きく異なるであろう。最新のデータを正確に把握したうえで、戦略的に事業を実施する必要がある。
- 横須賀おみやげアイデアコンテストについて、商品開発の一環として、観光客の購買意欲を高めるパッケージおよびネーミング、販売方法、販売場所などについて検討する必要がある。
- ポートマーケットのリニューアルについては、近くにある三笠公園や猿島と連携し、相互送客できるようにすることも意識すると良い。
- 今後、インバウンド消費が戻ってくることもふまえ、訪日外国人観光客に何を訴求すべきか、検討する必要がある。中心市街地以外のエリアにも需要があると思われる。
- 三浦半島の農産物や魚介類は魅力的である。たとえば、佐島の魚は、都内の方々にも知られている。観光に活かすことも考えると良い。その際は、ターゲットを明確にし、民間事業者などの協力のもと、食材の選定や提供方法を検討することが重要である。

- 観光周遊コースを推奨する際は、二次交通を分かりやすく示す必要がある。バスの乗り場、タクシーの予約方法などを丁寧に示し、観光客にとって周遊しやすいものとするとうい。
- ビジネス目的の宿泊者が多いのであれば、ビジネス層の消費を、観光サイドで考えることも大切である。
- 宿泊者数を増やすにあたっては、日帰りでは横須賀に行けない遠方の方々を、ターゲットとすることも良いと考える。首都圏以外でのPRも必要であるとする。
- 資料3「観光立市推進に向けた取り組み及び状況について」にある「1 地方自治体の目的と観光立市」に書いている3つの視点を、市民に浸透させることができると良い。市民のリテラシーを高める取り組みを地道に続けるべきだと考える。
- 横須賀には多くの地域があり、それぞれの地域が観光資源になると考える。他の自治体でも、観光戦略に「コミュニティ」を入っているところはないだろう。「コミュニティ」を、どう魅力としてアピールするか、考えることも面白い。